

年末になると、毎年恒例の来年度予算編成が大詰めを迎える。政策的経費の中で最も多いのが社会保障費。若年人口が減少するため高齢者の社会保障負担が増加するのは不可避と説くのは、早稲田大学フナフナス総合研究所顧問の野口悠紀雄氏(週刊ダイヤモンド12月10日)である。

今年までの政府内の議論でも、高齢者の高齢者に医療と介護の自己負担で、保険料負担を増やす方向が打ち出された。年齢ではなく負担能力に依じた負担に改めようという。社会保障制度を持続可能にする。70歳以上の医療費は70歳以上の人が払う保険料で7%、自己負担で6%、残り87%は他の保険からの拠出と税財源で、若年者が負担しているのが現状だ。70歳以上人口は、2040年には16年と比べて1.233倍に増え、1人当たり医療費が不変とすれば、同率だけ医療費が増える。

一方、若年者人口は減少するので、若年者の負担割合は40年には65.5%に減る。1.233倍に増える医療費に対して、65.5%しか若年者が負担できないとすると、残りの57.5%分の負担は高齢者が保険料と自己負担で賄わなければならない。そして、40年には高齢者の自己負担率は所得に占める割合が4割に必要がある」と野口氏は主張する。社会保障



野口悠紀雄氏



山本勲氏

働き方改革の具体策探る

長時間労働が生じる理由を労働の需要と供給の双方から論じる。労働規制の要因に、大きい労働の固定費、人的資源管理の非効率性、労働者の交渉力の低下を挙げる。労働者の交渉力の低下を挙げる。労働者の固定費、労働時間に関わりなく生じる雇用者1人当たり費用で、採用費用、解雇費用、教育訓練費用がある。残業や休日出勤が高く評価される職場や、上司が業務量や重要な業務が特定の部下に偏らないように配慮していない職場などは、非効率な長時間労働が生じやすい。雇用の流動性が高く、労働者の交渉力も高ければ、こうした人的資源管理を企業は淘汰されるはずだが、そうはならない。

労働供給側の要因として、労働重視の嗜好、心理・性格特性、雇用の流動性、昇進競争などを挙げる。所得を得る消費を増やす方を余暇よりも好む家計が多々、余暇を短くしても働く消費を享受する。長時間労働が企業や組織への忠誠心のシンボルとなり、昇進競争に有利になる。長時間労働の非効率性によって生じている部分を、長時間労働を抑制するが重要と山本氏は主張する。その手段として、労働時間の上限規制の強化、法律遵守の徹底を唱える。

労働時間改革は、正社員と非正社員の処遇格差を正す焦点である。非正社員の増加は、企業が新規採用に及ぶ懸念になり、それが主因で、東京大学教授の川口大司氏(週刊ダイヤモンド12月10日)だ。日本には、厳しい解雇規制があるため、経営が悪化しても簡単に正社員を解雇できない。雇用規制が厳しい国ほど、新規採用される社員も少ない。正社員の人口を占めるには、まず正社員の出口を上げるべく、解雇規制の緩和や透明化が必要と、川口氏は主張する。解雇の際の金銭解決を認めることで、勤続年数に応じた解決金の相場を決めるという方法を提唱する。山本氏の指摘も併せてみると、労働市場の流動性を高めることが、長時間労働の是正にも寄与しそうだ。

ボーナスと消費の関係は

ボーナスと消費の関係は、ボーナスが得意な人、発信が得意な人、交渉が得意な人など、様々なキャラクターがフラットにならざるを得ない。情報共有しながらプロジェクトを進めていく。会社組織の枠を超えないネットワーク作りが不可欠で、政府が大企業に対して、法律による働き方改革を迫るのは的外れである。

は、月例賃金に確実に反映させるべきだと主張する。ボーナスは、基本的に臨時的な色彩が強いため、月例賃金の上昇がなければ、国内消費の増大に結びつかない。企業業績の変化する。このように月例賃金とボーナスに適切に反映させていかなければ、労使による活発な議論に期待を寄せる。



川口大司氏



シラー氏

シラー氏は、中産階級であることの誇りや職業的な達成感を求める者が多い支持層に同等や失敗、不安定さを感じさせるとも、むしろ、政治的な特権や既得権益にまつて政策の恩恵を享受して、この階層に憤りを感じている。シラー氏は所得だけでなく権力を再配分する方法を見つけてほしい。トランプ氏も、支持層を議員候補に任じられなかったのを遺憾と、トランプ新政権をたたむ。

来年からトランプ新政権となるアメリカ。米エール大学教授のロバート・シラー氏(週刊東洋経済12月10日)は、富裕層への懲罰的な課税によって得た財源を低所得者に回すような経済格差の是正だとして、支持者の真の望みをかなえてほしいと喝破する。再分配政策は、中産階級であることの誇りや職業的な達成感を求める者が多い支持層に同等や失敗、不安定さを感じさせるとも、むしろ、政治的な特権や既得権益にまつて政策の恩恵を享受して、この階層に憤りを感じている。シラー氏は所得だけでなく権力を再配分する方法を見つけてほしい。トランプ氏も、支持層を議員候補に任じられなかったのを遺憾と、トランプ新政権をたたむ。